

8 ふるさとの歴史

時代	日本の国の成り立ち			貴族の世の中				武士の						
	縄文時代	弥生時代	古墳時代	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	室町時代	安土桃山時代						
年		200 300 400 500 600 700			800 900 1000 1100	1200 1300	1400	1500	1600					
日本の主なできごと	二万年前ごろ 縄文土器や石器が つくりや漁のくらし が行われる	二二〇〇年前 米づくりが大陸から 伝わる	二二九 古墳が各地につく られる 邪馬台国の卑弥呼が 中国(魏)に使いを送 る 小さいくにあちうこ ちうにつくられる	五九三 大和朝廷の国土統一 が進む	七二〇 聖徳太子が摂政とな る 大化の改新	七九四 京都(平安京)に都が 移る 東大寺の大仏の開眼 式が行われる	一〇一六 藤原道長が摂政にな る 日本風の文化が育つ	一一八五 源頼朝が征夷大将軍 となる 壇ノ浦の戦いで平氏 がほろびる 平清盛が太政大臣と なる	一二七四 承久の乱が起こる 元がせめてくる 再び元がせめてくる	一三三三 鎌倉幕府がほろびる	一三九七 足利義満が金閣を建 てる 南朝と北朝の対立が 続く 足利尊氏が京都に幕 府を開く	一四八九 足利義政が銀閣を建 てる 応仁の乱が起こる(一 四七七)	一五九〇 豊臣秀吉が全国を統 一する 織田信長が室町幕府 をほろぼす	一六〇三 徳川家康が江戸に幕 府を開く 関ヶ原の戦いが起こ る
	袋井の主なできごと	大畑遺跡の集落で貝塚 がつくられる	鶴松遺跡で大規模集 落が営まれる	古新田遺跡に豪族の 館が建てられる	山名郡から平城京に 堅魚十斤を税として 収める	七四五	一五九〇 松平の綱が久野城主 となる 一五七八 武田勝頼家臣の笹田 源吾が木原村でつか まる 一五七五 家康が馬伏塚城の大 改修を命じる 一四九四ごろ 今川家の家臣、久野 宗隆が 久野城を築城する	一二七八ごろ 遺塵和歌集に「ふく ろふ」の名がのる	一五九〇 松平の綱が久野城主 となる 一五七八 武田勝頼家臣の笹田 源吾が木原村でつか まる 一五七五 家康が馬伏塚城の大 改修を命じる 一四九四ごろ 今川家の家臣、久野 宗隆が 久野城を築城する	一五九〇 松平の綱が久野城主 となる 一五七八 武田勝頼家臣の笹田 源吾が木原村でつか まる 一五七五 家康が馬伏塚城の大 改修を命じる 一四九四ごろ 今川家の家臣、久野 宗隆が 久野城を築城する	一五九〇 松平の綱が久野城主 となる 一五七八 武田勝頼家臣の笹田 源吾が木原村でつか まる 一五七五 家康が馬伏塚城の大 改修を命じる 一四九四ごろ 今川家の家臣、久野 宗隆が 久野城を築城する	一五九〇 松平の綱が久野城主 となる 一五七八 武田勝頼家臣の笹田 源吾が木原村でつか まる 一五七五 家康が馬伏塚城の大 改修を命じる 一四九四ごろ 今川家の家臣、久野 宗隆が 久野城を築城する		


世の中	明治からの世の中			戦後の新しい日本	新しい時代
江戸時代	明治時代	大正時代	昭和時代	平成時代	

1700 1800


1900

<p>一六四一 鎖国が完成する</p> <p>一六三七 島原・天草一揆が起こる(一三八)</p> <p>一六三五 参勤交代の制度が確立される</p> <p>一六一五 武家諸法度が定められる</p> <p>豊臣氏がほろびる(大阪夏の陣)</p>	<p>一八三七 大塩平八郎の乱が起こる</p> <p>百姓一揆と打ちこわしがたびたび起こる</p> <p>天保の大火(一三九)</p> <p>江戸を中心に町人の文化が栄える</p> <p>大阪を中心に町人の文化が栄える</p>	<p>一八七三 徴兵令が出される</p> <p>一八七二 学制が公布される</p> <p>一八七一 藩が廃止され県が置かれる(廃藩置県)</p> <p>一八六八 明治維新 江戸を東京とする</p> <p>一八六七 徳川慶喜が政権を朝廷に返す(大政奉還)</p> <p>一八五八 アメリカなど五か国と修好通商条約を結ぶ</p> <p>一八五四 日米和親条約を結ぶ</p> <p>ペリーが浦賀に来る</p>	<p>一八九〇 第一回帝国議会が開かれる</p> <p>一八八九 大日本帝国憲法が公布される</p> <p>自由民権運動がさかんになる</p> <p>一八七七 西南戦争が起こる</p> <p>地租改正が行われる</p> <p>一八七三 徴兵令が出される</p> <p>一八七二 学制が公布される</p> <p>一八七一 藩が廃止され県が置かれる(廃藩置県)</p> <p>一八六八 明治維新 江戸を東京とする</p> <p>一八六七 徳川慶喜が政権を朝廷に返す(大政奉還)</p> <p>一八五八 アメリカなど五か国と修好通商条約を結ぶ</p> <p>一八五四 日米和親条約を結ぶ</p> <p>ペリーが浦賀に来る</p>	<p>一九三三 日本が国際連盟を脱退する</p> <p>一九三一 満州事変が起こる</p> <p>一九二五 普通選挙制度が定められる</p> <p>一九二三 関東大震災が起こる</p> <p>一九一〇 韓国併合が行われる</p> <p>一九〇四 日露戦争(一〇五)</p> <p>一八九四 日清戦争(九五)</p> <p>一八九〇 第一回帝国議会が開かれる</p> <p>一八八九 大日本帝国憲法が公布される</p> <p>自由民権運動がさかんになる</p> <p>一八七七 西南戦争が起こる</p> <p>地租改正が行われる</p> <p>一八七三 徴兵令が出される</p> <p>一八七二 学制が公布される</p> <p>一八七一 藩が廃止され県が置かれる(廃藩置県)</p> <p>一八六八 明治維新 江戸を東京とする</p> <p>一八六七 徳川慶喜が政権を朝廷に返す(大政奉還)</p> <p>一八五八 アメリカなど五か国と修好通商条約を結ぶ</p> <p>一八五四 日米和親条約を結ぶ</p> <p>ペリーが浦賀に来る</p>	<p>一九七二 日中戦争(四五)</p> <p>一九四五 太平洋戦争(四五)</p> <p>一九四六 広島・長崎に原子爆弾が落とされる</p> <p>一九四一 日本国憲法が公布される</p> <p>一九五一 サンフランシスコ平和条約が結ばれる</p> <p>一九五〇 日米安全保障条約が結ばれる</p> <p>一九五六 国際連合に加盟する</p> <p>一九七八 東日本大震災</p> <p>一九七二 新元号「平成」消費税3%スタート</p> <p>一九八九 アメリカ同時多発テロ</p> <p>二〇〇一 新元号「平成」消費税3%スタート</p> <p>二〇一〇 東日本大震災</p>
---	---	---	---	---	--


<p>一八〇〇 唐船が流れ着き大さわぎとなる</p> <p>一六四四 久野城が廃城となる</p> <p>一六一六 東海道に袋井宿が開かれた</p>	<p>一八七二 袋井が浜松県の一部となる</p> <p>一八六八 遠州報国隊が官軍に参加し、戊辰戦争に参加する</p> <p>一八五四 安政の大地震が起き、袋井宿がひ害を受ける</p>	<p>一九〇二 秋葉馬車鉄道が開通する</p> <p>一八八九 袋井駅が開業する</p>	<p>一九二四 袋井での乗合自動車が開業する</p> <p>一九四五 袋井市ができる</p> <p>一九四五 袋井市と浅羽町が合併し、新「袋井市」となる</p> <p>一九四四 愛野駅開業、静岡スタジアム「エコパ」完成</p>
---	--	--	---




唐船が流れ着き大さわぎとなる




久野城が廃城となる




東海道に袋井宿が開かれた




秋葉馬車鉄道が開通する




袋井駅が開業する




袋井での乗合自動車が開業する



袋井市ができる



袋井市と浅羽町が合併し、新「袋井市」となる



愛野駅開業、静岡スタジアム「エコパ」完成

ふるさと歴史マップ



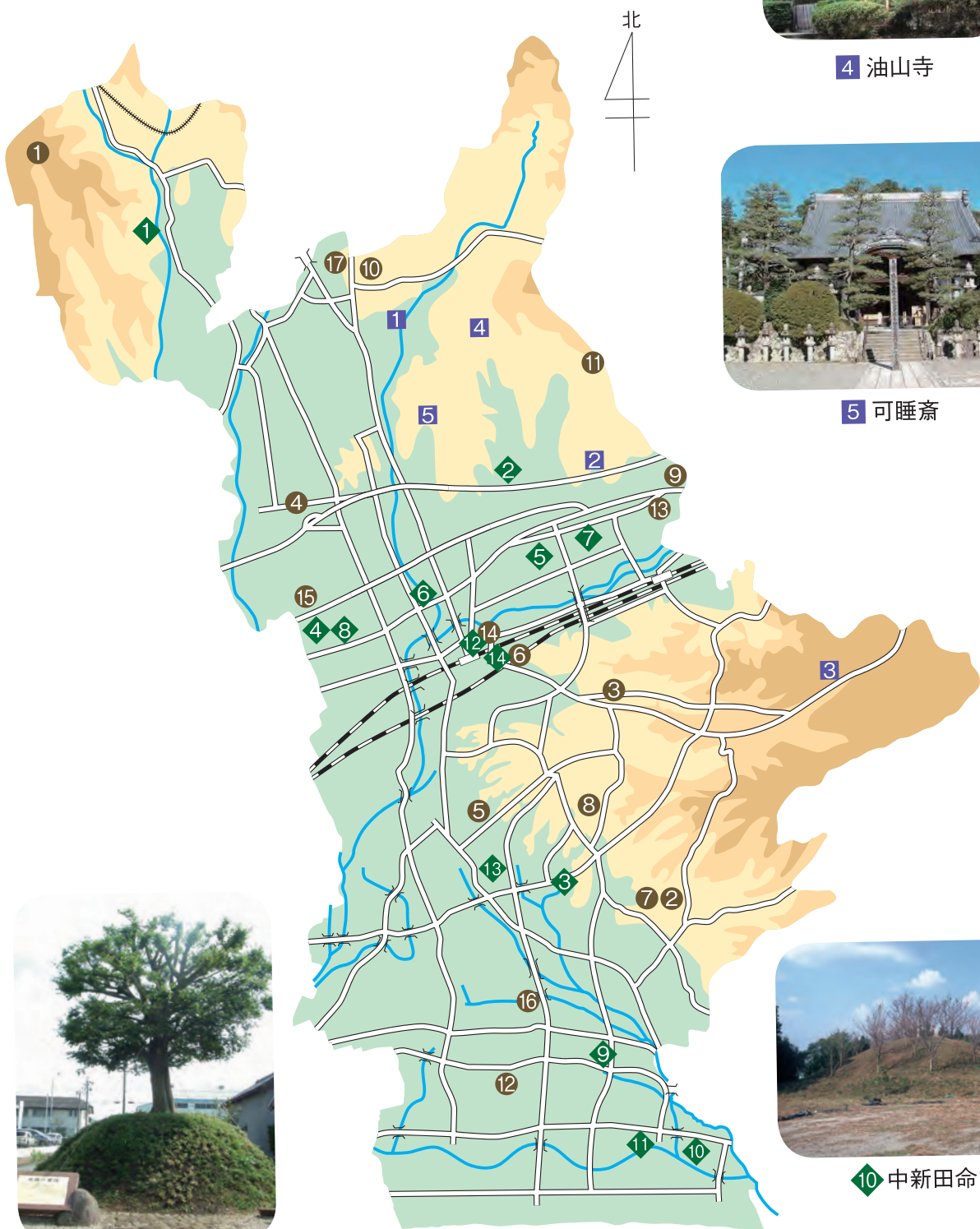
3 尊永寺(法多山)



4 油山寺



5 可睡斎



8 木原一里塚



10 中新田命山



いせき こぶん
遺跡・古墳

	名 しょう	関連する 主な時代
①	やまだばらいせき 山田原遺跡	旧石器
②	おおばたけ 大畑遺跡	縄文
③	ちようじゃびら 長者平遺跡	縄文
④	つるまつ 鶴松遺跡	弥生
⑤	こしんでん 古新田遺跡	古墳
⑥	だもんおおつかこぶん 大門大塚古墳	古墳
⑦	えもんざかこようあと 衛門坂古窯跡	古墳
⑧	ごかやま 2号墳 五ヶ山B 2号墳	古墳
⑨	いし がた 石ノ形古墳	古墳
⑩	はるおかいせきぐん 春岡遺跡群	古墳
⑪	すげがやおうけつぐん 菅ヶ谷横穴群	古墳
⑫	じ ぞうやま 地藏山古墳	古墳
⑬	さかじり 坂尻遺跡	奈良
⑭	かけのうえ 掛之上遺跡	奈良
⑮	つちはし 土橋遺跡	奈良
⑯	にいぼり きた 新堀・北ハサマ遺跡	奈良
⑰	いなりりようけ 稻荷領家遺跡	奈良

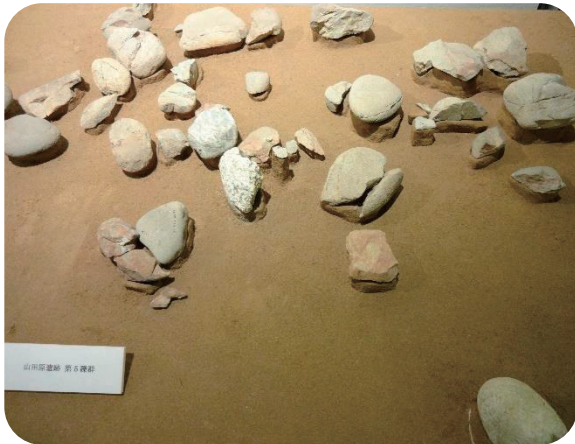
寺・神社

	名 しょう	関連する 主な時代
1	さいらくじ 西楽寺	平安
2	ふじせんげんぐう 富士浅間宮	室町
3	そんえいじ 尊永寺(法多山)	室町
4	ゆさんじ 油山寺	安土・桃山
5	かすいさい 可睡斎	安土・桃山

◆ その他

	名 しょう	関連する 主な時代
1	せきうんいん 源朝長 墓 積雲院の源朝長 墓	平安
2	くのじょうし 久野城址	安土・桃山
3	まむしづかじょうあと 馬伏塚城跡	安土・桃山
4	きはらなわて こせんじょうきねんひ 木原畷 古戦場記念碑	安土・桃山
5	東海道松並木と土塁 東海道松並木と土塁	江戸
6	袋井宿 袋井宿	江戸
7	くつべいちりづか 久津部一里塚	江戸
8	きはらいちりづか 木原一里塚	江戸
9	ばんしょういん きりしたんとうろう 万松院の切支丹灯笼	江戸
10	なかしんでいのちやま 中新田命山	江戸
11	おおのいのちやま 大野命山	江戸
12	まさおかしきくひ 正岡子規句碑	明治
13	けいべんしばていしゃばのき しばえきあと 軽便柴停車場之記(芝駅跡)	昭和
14	たかおこせんどうろきょう だんこんせき 高尾跨線道路橋 弾痕跡	昭和

1 袋井に残る大昔の暮らしの跡くあと



旧石器時代 炊事場の痕跡（山田原遺跡）



縄文時代 矢じり（大畑遺跡）



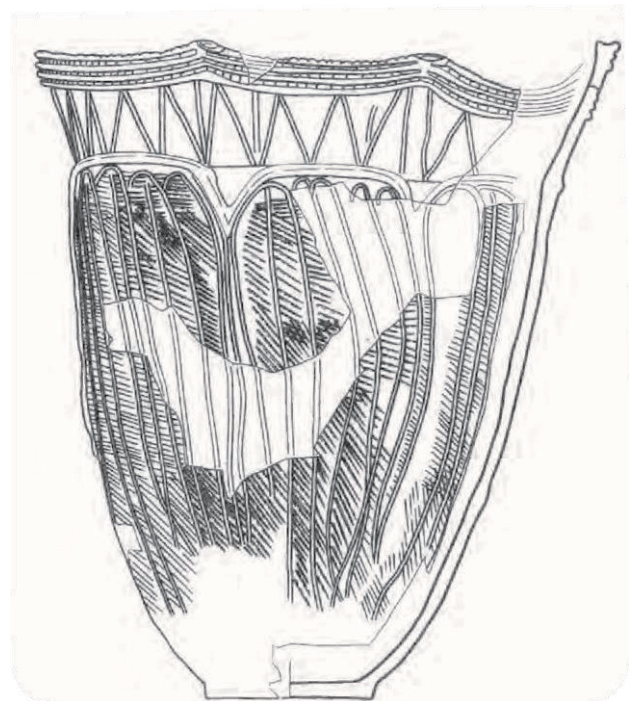
縄文時代 石斧（大畑遺跡）



縄文時代 網の重石 使用例（大畑遺跡）



縄文土器

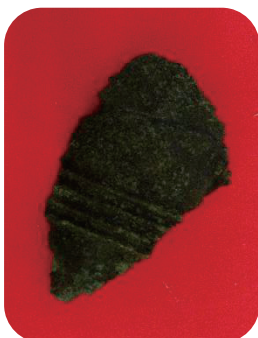




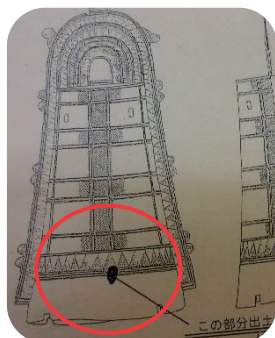
やよい
弥生土器



いろいろなやよい
弥生土器



やよい
弥生時代



どうたく
銅鐸の一部



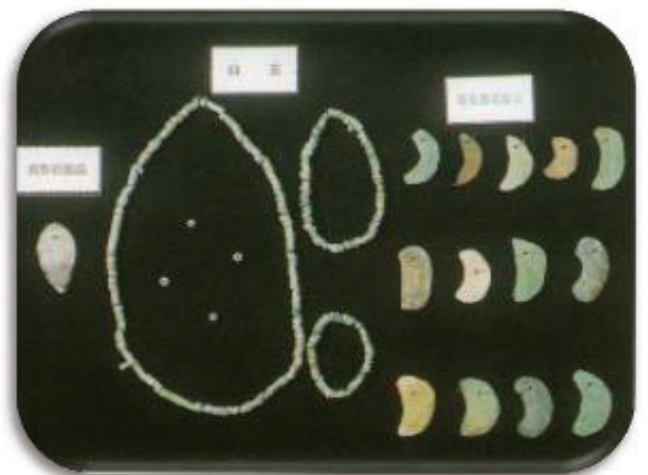
銅鐸の使用例（想像図）



古墳時代 豪族居館の中心部（古新田遺跡）



古墳時代 当時の様子（古新田遺跡）



古墳時代 マツリに使われた滑石製品（古新田遺跡）

かけのうえ
(3) 掛之上遺跡の倉庫

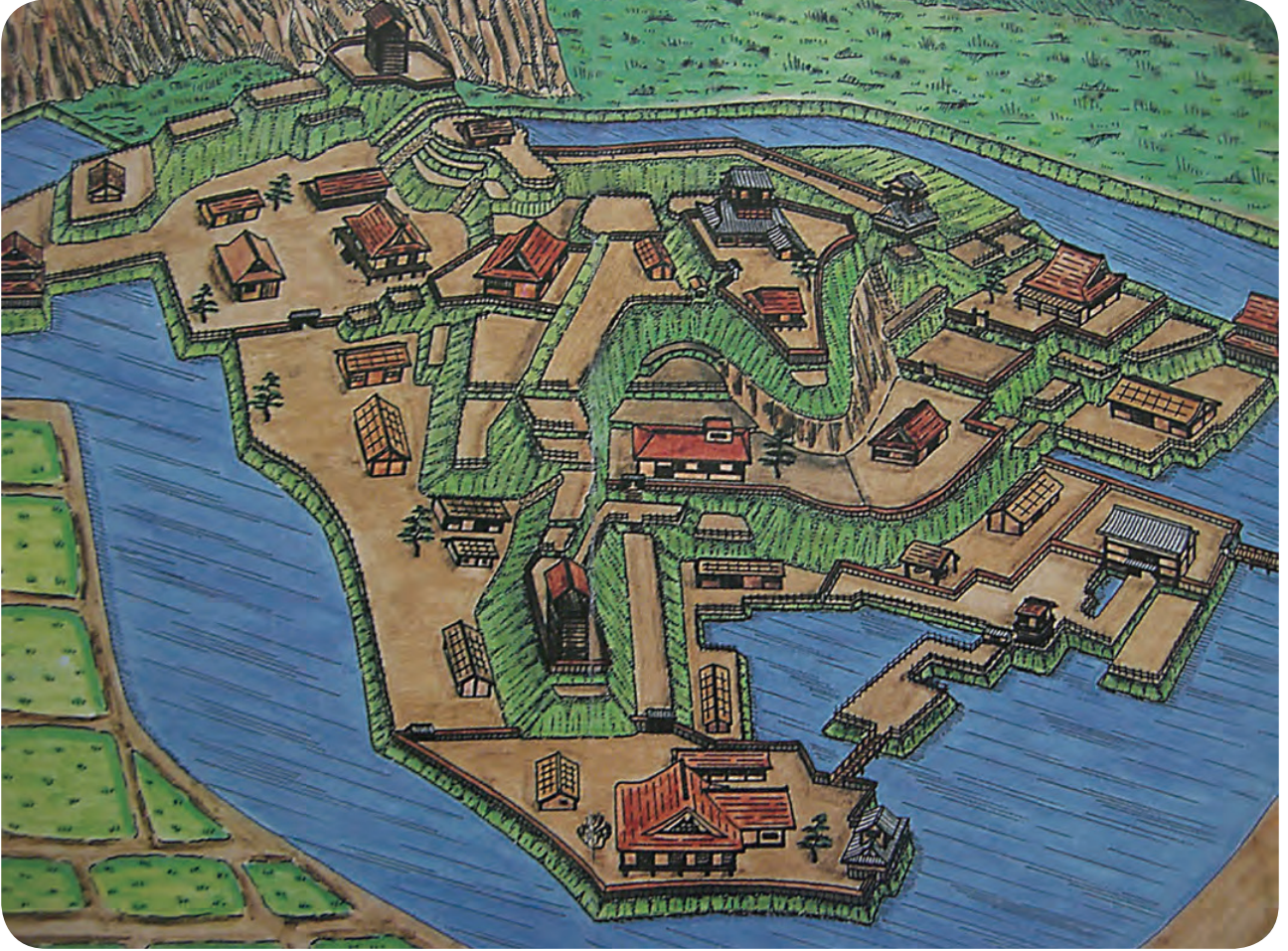
ならびぐら
双倉の復元図



双倉の柱跡^{あと}

くのじょう 3 久野城

(1) 戦国時代の久野城



戦国時代の久野城^{ぞう}想像図



久野城北側の防備^{ほうび}



はっ^{はっ}くつされた折れ塀^{へい}の跡^{あと}

(2) 豊臣秀吉と松下之綱

豊臣秀吉が、木下藤吉郎と名乗っていたころ初めて仕えたのが、後に久野城の城主になった松下之綱でした。

年	城主
1492 ~ 1501 (明応年間)	久野宗隆
1590 (天正18年)	松下之綱
1603 (慶長8年)	久野宗能
1619 (元和5年)	北条氏重
1644 (正保元年)	

久野城主の移り変わり

1583年 羽柴秀吉の召し出しを受けて家臣として仕え、丹波・河内・伊勢などの3000石の所領をあたえられる。

1587年 石見守に任官し、秀吉から6000石をあたえられる。

1590年 家康が江戸に移される。久野城主となり、秀吉から16000石をあたえられる。城の規ぶは小さいが、瓦の格式が高い立派なつくりの城に改修する。

1600年 関ヶ原の戦い

1602年 松下重綱、無断で石塁築く。

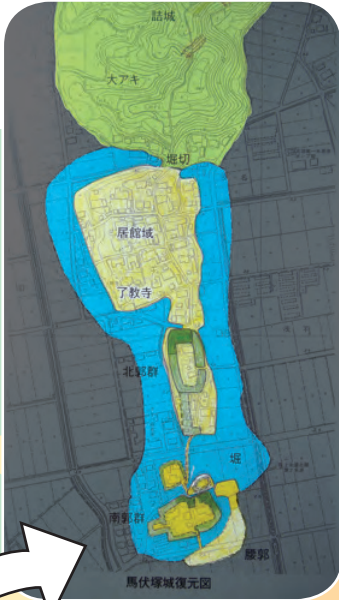


久野城の跡から出てきた瓦













4 まむしづかじょう 馬伏塚城

(1) 徳川軍と武田軍の攻防 こうぼう

馬伏塚城のつくり



(2) 馬伏塚城と高天神城たかてんじんじょう

年	馬伏塚の支配	高天神城の支配	主なできごと
1569 (永禄12年) <small>えいろく</small>	徳川 	徳川 	高天神城と馬伏塚城の城主小笠原氏 <small>おがさわらし</small> が、徳川家康のさそいで、徳川の味方になる。
1571 (元亀2年) <small>げんき</small>	徳川 	徳川 	駿河に進軍した武田信玄 <small>しんげん</small> が、海沿いのルートで今の静岡県西部一帯を手に入れようとしたので、徳川家康 <small>とくがわいえやす</small> と争うことになる。
1572 (元亀3年) <small>げんき</small>	徳川 	徳川 	武田軍が、東海道沿線の城を長野県から南下して攻め立てるが、久野城は侵攻されることはなかった。
1574 (天正2年) <small>てんしょう</small>	武田 	武田 	武田勝頼 <small>かつより</small> が高天神城を攻め、城主が降伏したため、馬伏塚城は、武田軍の味方になる。
1575 (天正3年)	徳川 	武田 	家康は、すぐに馬伏塚城を手に入れ、高天神城をうばい返す基地とするため、大須賀康高 <small>おおすが やすたか</small> に馬伏塚城の大改修を命じた。 長篠の戦いで武田軍が大敗すると、この地域でも徳川軍の盛り返しが始まる。
1581 (天正9年)	徳川 	徳川 	徳川家康は、高天神城を取りもどそうと、高天神城周辺に、6つの砦 <small>とりで</small> を築き、馬伏塚城・横須賀城を武器や食料などをたくわえるための基地とした。その後、徳川家康は、高天神城を取りもどすことに成功する。

徳川家康が高天神城を取りもどしたことにより、馬伏塚城はその役割がなくなり、使われなくなりました。また、後に高天神城も取りこわされることになりました。

しゅくばまち
5 宿場町・袋井
 うきよえ
(1) 浮世絵に残る袋井宿 しゅく



つぎ
 東海道五十三次宿場地図



「東海道どまん中茶屋」



初代 うたがわひろしげ
 歌川広重 作



東海道なみきの松並木

初代 歌川うたがわひろしげ広重 作



二代 国輝くにてる 作

あまはし
天橋



(2) 袋井宿の当時の様子

徳川家康は、江戸に幕府を開く2年も前、1601年（慶長6年）に、いわゆる「東海道五十三次」のほとんどの宿駅を設置しています。袋井宿は、比較的きよりのある掛川宿と見付宿の中間の宿駅として、1616年（元和2年）に開かれました。



御幸橋



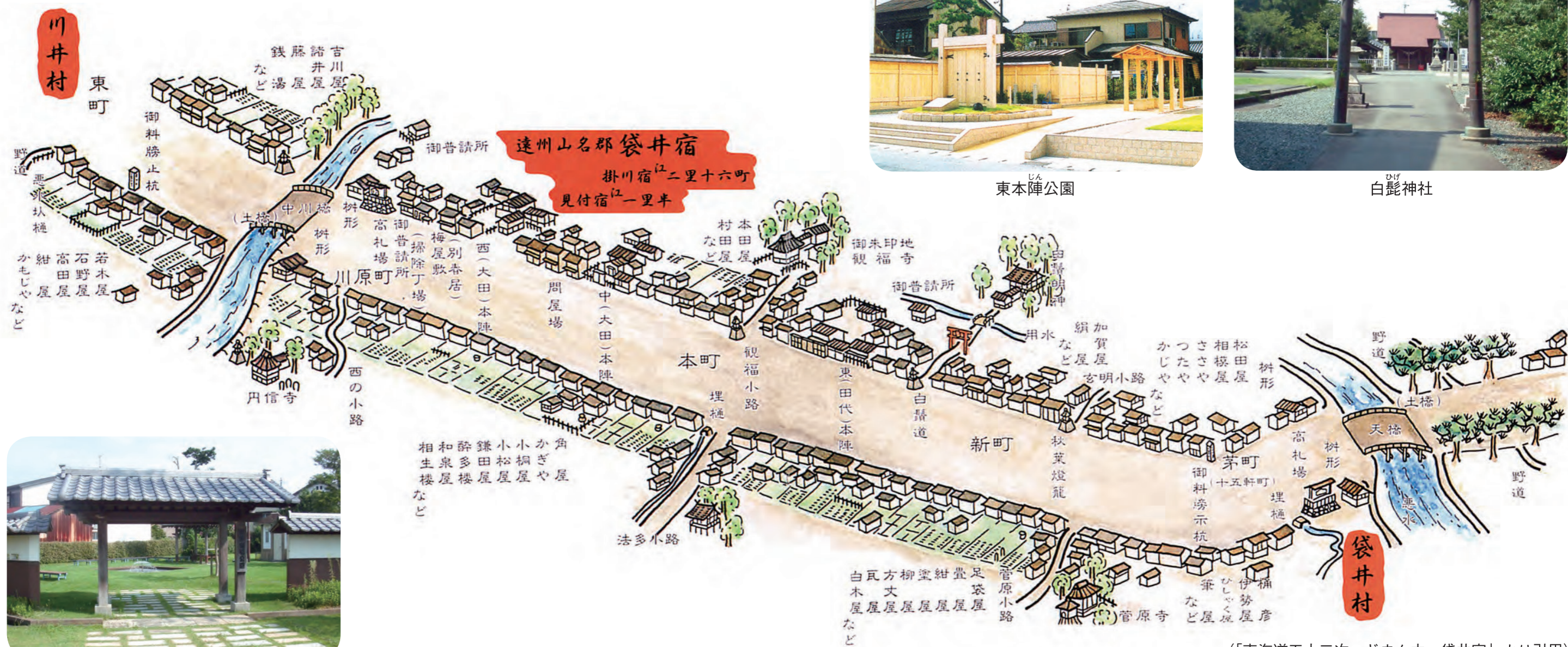
本町宿場公園



東本陣公園



白髭神社



宿場公園

(「東海道五十三次 どもん中 袋井宿」より引用)

6 ひょう着した唐船とうせん

1800年（寛政12年），袋井の海岸近くの海に，長崎ながさきに向かう途中の中国の船（唐船）が流れ着きました。このときの様子が，絵図として残されています。



① 異国船発見

村の役人が海の上に異国船を発見しました。この出来事におどろいた掛川藩かけがわはんの役人が出動します。



② 役人たちがとう着

藩の役人たちが流れ着いた船に乗りこみます。すると，これが唐船であることがわかりました。





③ 唐の人々が上陸

藩の役人は、唐の人々を小舟に乗せて上陸させました。ものものしい警備の様子に、唐の人々はとてもおどろきました。



④ 役人の検査

間もなくすると、藩の役人などによる荷物の検査が行われました。





⑤宿での生活

唐の人々は、しばらくの間、藩が用意した宿で生活することになりました。

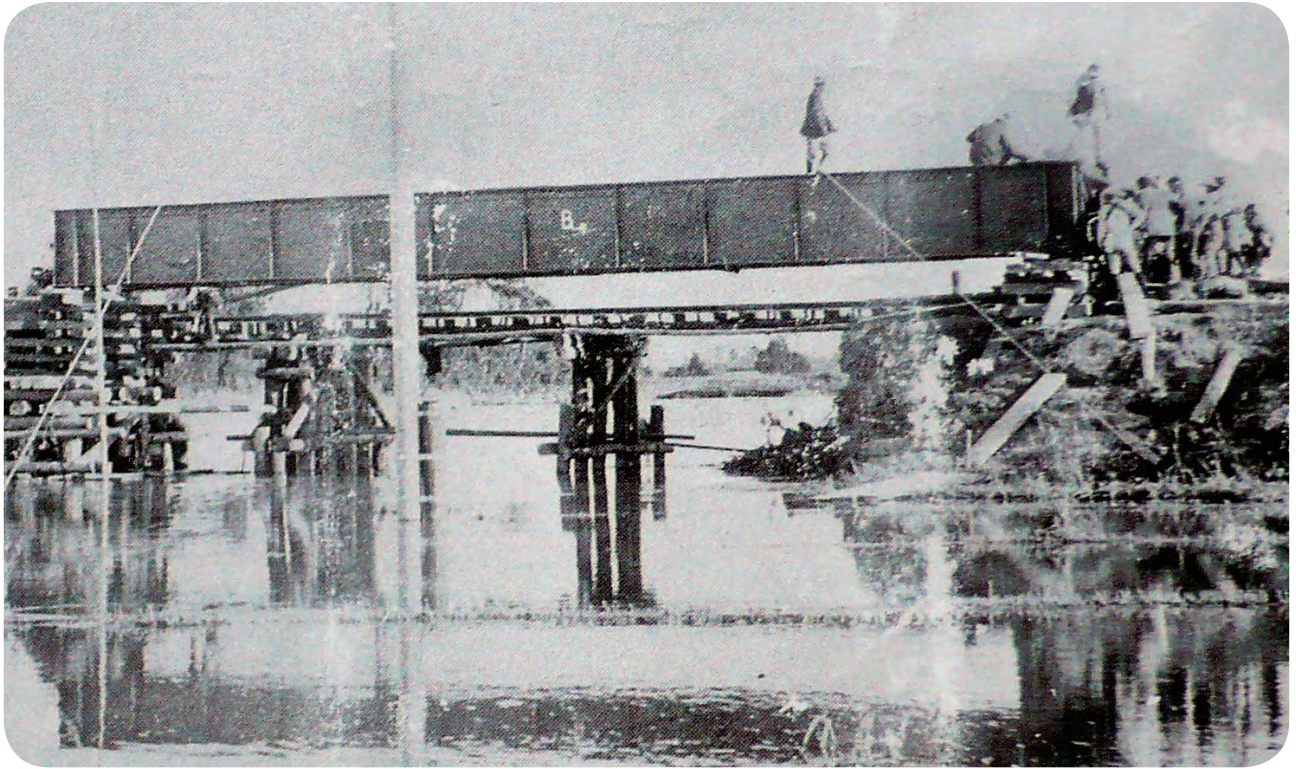


⑥出発

3ヶ月間、たい在し、ようやく帰国が許ゆるされました。



7 袋井の鉄道の開通



めいじ 20 年ごろの 原野谷川の 鉄橋建設風景

年	主なできごと
1870 (明治 3)	にっかん かんこう 日刊新聞の刊行
1871 (明治 4)	しんばし よこはまかん 鉄道 (新橋・横浜間) の開通
1872 (明治 5)	たいむ そうかん 静岡大務新聞の創刊
1889 (明治 22)	静岡・浜松間開通 (袋井駅開業)
1902 (明治 35)	あきは 秋葉馬車鉄道 (袋井・森町間) 開通
1924 (大正 13)	袋井での乗合自動車 (現在のタクシー開業)



あきは
秋葉馬車鉄道



たいしょう
大正時代に袋井で走っていた
乗合自動車



たいしょう きゅう しゃ
大正時代に建てられた旧袋井駅舎
(写真は昭和 30 年ころの様子)

●静岡・浜松間の鉄道開通

静岡より西、浜松までの間の鉄道が予定通り、本日開業となりました。新橋から静岡の間、浜松から名古屋の間、名古屋・長浜間の発車時刻は、改正になります。本誌のご愛読になる方に、けい帯に便利な時刻表を本日の付録としました。

●静岡・浜松間汽車開業

静岡以西浜松間の鐵

道と急激定の通り本日より開業あるまど、かりたり右に付死新橋静岡間、濱松名古屋間名古屋、長濱間汽車の發着時間及び發車度數等に改正ありふるを以つて取敢へて本紙御愛讀者諸君一般の便利を圖り携帶に便なる様特々本日の附録として本紙に添ゆることとせり

明治22年4月16日静岡大務新聞の記事

1889年（明治22年）12月25日に正岡子規が、東京から松山に向かう途中の車窓から見た、師走（12月）の袋井の風景を俳句によんでいます。
「冬枯の中に家居や村一つ」



袋井駅前にある正岡子規の句碑

8 戦争中の袋井

(1) 広大な農地



昭和 19 年ごろの農作業の様子

(2) 空からの攻撃



じゅうげきを受けた袋井駅近くの陸橋
※現在は新しい橋がかかっています



じゅうだんがかん通したあと

(3) 学生くんれんの訓練



実戦を想定した訓練



三川小の運動場での訓練

(4) 出征せい



村をあげて送り出す様子

9 袋井の伝統民俗文化財 ぞく ざい

① みなもとのともながこうごさいれい
源朝長公御祭礼 (三川地区)



② やまなしぎおんまつり
山梨祇園祭 (山梨地区)



③ ふじせんげんぐう たあそ
富士浅間宮の田遊び (国本地区)



④ きはらだいなんぶつ
木原大念仏 (木原地区)



⑥ おかやま やま かみまつり
岡山の山の神祭 (岡山地区)













⑤ はったさんたあそびさい
法多山田遊祭 (法多山)



	無形民俗文化財	始まった時代	内 容
①	源朝長公御祭礼 (お盆)	室町	源朝長(源頼朝の兄)は、平治の乱の後、仲間を増やすため、信濃甲斐(現在の山梨県)に向かいました。そのとき、矢を受けた傷がひどく、朝長は自害しました。朝長は、美濃国青墓に埋葬されましたが、平氏によって墓が見つけれ、首が京の河原にさらされました。それを気の毒に思った守役の大谷忠太が、遠江国友永に首を持ち帰り供養しました。室町時代になり、源朝長の霊を供養するために行われる廻り念仏が始まり、今に伝わっています。
②	山梨祇園祭 (梅雨)	室町	祇園祭は、梅雨時に流行するえき病をはらうことを神にお願いする神事です。また、神事にあわせて、屋台の引き回しが行われています。古くは仏式で、朝廷が祭事として行っていましたが、応仁の乱を境に日本各地に伝わり、町人の祭りへと変化していきました。次第に、曳山や飾山の華麗さを競うようになり、山梨の祇園祭にも、その面影が伝わっています。
③	富士浅間宮の田遊び (正月)	室町	田遊びは、年始めに、田起こし、田植え、弓取り等、さいばいの様子をまねた演技を神の前で行うことで豊作を祝う神事です。田起こしは、大きな音を立て、田の中の悪い霊を追いはらいます。田植えは、清められた田に苗を植える動きをします。弓取りは、鳥追いのことばを唱えて、害を追いはらいます。
④	木原大念仏 (お盆)	江戸初め	戦国時代、徳川家康と武田勝頼は遠州の地をかけて争っていました。ある日、勝頼の家来(笹田源吾)が木原村まで家康の動きを探りに来たところ、家康に味方していた神主の親子に討ち取られてしまいました。家康は喜び、ほうびをあたえました。しかし、江戸時代になり、争いのない世の中になっても村にはえき病や災害など悪いことが続いたので、いつのまにか、源吾の霊のしわざではないかと言われるようになりました。村人は、源吾の霊をしずめるため、墓を建て、その前で行った供養祭が木原大念仏の始まりと言われています。現在では、初盆の家で先祖を供養するために念仏を唱える行事となっています。
⑤	法多山田遊祭 (正月)	室町	法多山尊永寺で正月に行われる行事です。年始めに、仏の前で農作業の動きを演じ、豊作を願う行事です。田遊びは、実際に伝えてきた法多の地域の人たちにゆだねられ、受けつがれてきました。
⑥	岡山の山の神祭 (12月8日)	江戸後半	江戸時代後半に、この地域の村人は、山を開こんし、沼地を田にしようとけん命に開たく作業に取り組みました。しかし、その作業はたやすいものではなく、けがや病気などの不幸がいく度も村をおそいました。そんなとき、村の子どもたちが、親がじょうぶではげむことができるように山の神にお祈りしたことが、この祭りの始まりです。現在でも、苦難や不幸が起こらないように、山の神(地の神)をまつります。村中の災いをはらうため、笹を持った子どもたちが、各家々を回ります。

10 袋井市のあゆみ

時代	何年前	年	主なできごと	くらしの様子
江戸		1844	<p>大場九左衛門が今井用水を作った。</p> <p>原孫三郎が柳に村を開いた。</p> <p>幕臣208人が湊村で塩づくりをした。</p> <p>28世帯が平芝で開こんを始めた。</p>	<p>学校が各地にできた。</p> <p>郵便局ができた。</p>
		1872	<p>名倉太郎馬がこう地整理を始めた。</p>	<p>交番が各地にできた。</p>
明治		1875	<p>伊藤七郎平が遠州報徳社を設立した。</p>	<p>着物やぞうりばきの人が多かった。</p>
		1879	<p>西尾只吉が大日トンネルをほり始めた。</p>	
		1882	<p>高塚太郎平が太郎平新道の工事を始めた。</p>	
		1887	<p>戸倉惣兵衛がくわ畑の開こんを始めた。</p>	<p>ランプが使われた。</p>
		1889	<p>東海道本線が開通した。</p>	
			<p>永井五郎作がこう地整理を始めた。</p> <p>浅羽に5つの村ができた。</p>	<p>上浅羽の共進社が東京、横浜にお茶を売った。</p>
		1890	<p>浅羽要衛武が道路を作った。</p>	
		1901	<p>新堀の戸塚弥三治による土地改良が完成した。</p>	
		1902	<p>秋葉馬車鉄道が開通した。</p>	<p>電灯がついた。</p> <p>電話がひかれた。</p>
				
100年前		1908	<p>浅羽佐喜太郎がベトナム独立指導者潘佩珠を助けた。</p>	
		1909	<p>山名町(今の川井地区)が袋井町と名前が変わった。</p>	
		1913	<p>石川知至郎が平芝で開こんを始めた。</p>	
		1914	<p>中遠鉄道(後の駿遠鉄道)が開通した。</p>	
				
大正		1922	<p>中泉、上浅羽の間に定期乗合自動車が走り始めた。</p>	
		1923	<p>関東大震災が起こった。</p>	
		1925	<p>秋葉鉄道が電車に変わった。</p>	
昭和		1928	<p>笠西村と袋井町がいっしょになった。</p>	<p>ラジオ放送が始まった。</p>
			  	

時代	何年前	年	主なできごと	くらしの様子	
昭 しょう	70年前	1932	静橋 <small>しずかばし</small> が完成した。 	幸浦 <small>さきうら</small> ゆう便取扱所 <small>どりあつかいじよ</small> ができた。	
		1941	太平洋戦争が始まった。 (第2次世界大戦)	戦争のため都会の子どもがそ開してきた。	
		1944	東南海地震が起こった。 		
		1945	太平洋戦争が終わった。	磐田用水 <small>いわた</small> ができた。	
		1948	久努西村 <small>くじにし</small> と袋井町 <small>ふくろい</small> がいっしょになった。		
	1952	久努村と袋井町 <small>ふくろい</small> がいっしょになった。 東海道が国道1号線とよばれるようになった。			
	1954	今井村と袋井町 <small>ふくろい</small> がいっしょになった。			
	和 わ	60年前	1955	三川村 <small>みづがわ</small> と袋井町 <small>ふくろい</small> がいっしょになった。 山梨町 <small>やまなし</small> と宇川村 <small>うがわ</small> がいっしょになった。 浅羽の4つの村が合併し浅羽村 <small>あさひ</small> となった。	温室メロンづくりがさかんになり始めた。
			1956	田原村 <small>たはら</small> 、笠原村 <small>かさはら</small> と袋井町 <small>ふくろい</small> がいっしょになった。 浅羽村が浅羽町 <small>あさひ</small> になった。	上水道工事が始まった。
			1958	袋井市 <small>ふくろい</small> になった。(人口31,127人)	
1959			国鉄袋井駅 <small>ふくろい</small> が建て直されて新しく完成した。		
1962			秋葉線 <small>あきは</small> がなくなり、バスに変わった。		
1963		山梨町 <small>やまなし</small> と袋井市 <small>ふくろい</small> がいっしょになった。			
50年前		1964	東海道新幹線 <small>かん</small> が開通した。	全浅羽地区に上水道が通じた。 カラーテレビ放送が始まった。 市内の電話が自動化された。 有線放送 <small>ゆう</small> が始まった。 電化せい品 <small>ひん</small> がいきわたった。	
		1965	袋井衛生センター <small>えい</small> が完成した。		
		1966	袋井市の西がわに東海道線の立体交差 <small>りゅうたい</small> が完成した。 国道150号が完成した。		
		1967	駿遠線 <small>すまんと</small> がなくなり、バスに変わった。		
	1969	東名高速道路 <small>とうめい</small> が開通し、袋井インターチェンジが完成した。			
				 れいぞうこ	 せんたく機

時代	何年前	年	主なできごと	くらしの様子
昭 示 秀	40年 前	1970	袋井市立図書館が完成した。	高南地区に団地ができた。
		1971	袋井市・浅羽町・森町消ぼう組合が完成した。 袋井市民病院が完成した。	駿遠線のあと地が自転車歩行車道になった。 駅前土地区画整理事業が始まった。
		1973	市民体育館が完成した。 	東通りで大火事が起こった。
		1974	中遠清掃工場が完成した。	もえるごみを集め始めた。
		1976	浅羽町民会館が完成した。	七夕ごろ雨で大ひ害をうけた。 
		1977	浅羽町営野球場が完成した。	自動車が広くいきわたった。
	1978	二瀬東橋が完成した。	老人福祉センター「白雲荘」が完成した。 トイレが水せんになってきた。	
	1979	袋井市民病院が 新しく完成した。 	同ほう無線がで き始めた。 方丈地区に団地が でき始めた。 中遠水道から水を ひき始めた。 	
	1980	袋井バイパスの工事が始まった。		
	和 わ	30年 前	1981	諸井橋が完成した。
1982			袋井市役所が 新しく完成した。 	大型ショッピングセンターができた。
1983			浅羽地区に海岸公園,屋外球技場,テニスコートが完成した。 中遠広域不燃物しよ理センターが完成した。	浅羽郵便局が場所をかえて新しくなった。 紫雲の園(特別養護老人ホーム)が完成した。
1984			浅羽地区に北多目的運動場が完成した。 浅羽の役場庁舎が新しく完成した。	袋井,浅羽聖苑(火葬場)が完成した。 もえないごみを分けて集めるようになった。 (袋井地区) 浅羽に団地ができた,人口のふえ方が 県下一番となった。
1985			和橋が完成した。 	
1986			袋井市の人口が 5万人をこした。 浅羽町立図書館が完成した。	

時代	何年前	年	主なできごと	くらしの様子
昭和	20年前	1988	袋井市立図書館が新しく完成した。 愛野運動公園が完成した。 広愛大橋が完成した。 アメリカのヒルズボロ市と姉妹都市になった。	コンビニエンスストアができ始めた。
		1989	市民プールができた。	浅羽地区で資源化ごみの分別を始めた。
		1990	県立袋井養護学校と新静橋が完成した。	
		1991	静岡理工科大学が完成した。 浅羽地区に郷土資料館が完成した。	
		1992	クリーンセンター中遠が完成した。 二瀬西橋が完成した。	
		1993	東海アクシス看護専門学校が完成した。	「日本一健康文化都市宣言」をした。
		1994	袋井バイパスが全区間完成した。	浅羽地区に警察官派出所(交番)が完成した。
		1996		浅羽地区で下水道工事が始まった。
		1998	袋井衛生センターを新しく建て変えて「クリーンピアあいの」となった。	
		1999	アクアピュアで下水しょ理が始まった。	
平成	10年前	2000		浅羽町が第1回静岡縣市町村対抗駅伝「町村の部」で優勝した。
		2001	月見の里学遊館が完成した。 静岡スタジアム「エコパ」が完成した。 愛野駅が開業した。 東海道宿駅制400年祭が開かれた。	 エコパスタジアム
		2002	ワールドカップ(サッカー)が開かれた。	
		2003	NEW!!わかふじ国体・わかふじ大会が開かれた。	
		2005	新「袋井市」がたん生した。市章が制定された。 平成17年4月1日袋井市の人口(83,623人) 長野県塩尻市・山梨県北杜市と友好都市になった。	 愛野駅
		2006	市歌がつくられた。 市民憲章が制定された。 ねんりんピックが開かれた。	
		2008	中遠クリーンセンターができた。	
		2010	メロープラザが完成した。 近藤記念館が完成した。 市の木・花・鳥が決まった。 長野県塩尻市と姉妹都市になった。	「核兵器廃絶平和都市宣言」をした。
		2011	袋井警察署が完成した。 風見の丘が完成した。	 メロープラザ
		2013	中東遠総合医療センターが完成した。	
2014	新袋井駅舎が完成した。			
令和		2019	ラグビーワールドカップ、エコパで開催。	
		2020	新袋井市総合体育館が完成した。 袋井市消防庁舎、防災センターが完成した。 教育会館が完成した。	